

介護福祉・児童福祉複合型施設



山形県済生会

小白川ケアセンター



社会福祉法人
恩賜財団 済生会
おんしざいだん さいせいかい

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部山形県済生会

山形県済生会小白川ケアセンター

平成31年4月、介護福祉・児童福祉サービス複合型施設として「小白川ケアセンター」を開設しました。
当センターは、各フロアで提供するサービスが異なる特色を生かし、利用者様の多様なニーズにお応えできる施設になります。また、「乳児院はやぶさ」は、内陸地域に設置を望む声を受け、県内初の民間運営による児童福祉施設になります。
これからの超高齢化社会における、地域包括ケアシステムの拠点として、また、少子高齢化の中、次の時代を担う子供たちの健全な成長に寄与することを目的に、私ども済生会が担う役割を十分に展開できる施設として地域福祉に貢献していきます。



施設概要

施設名称	山形県済生会小白川ケアセンター
設置主体	社会福祉法人 <small>恩賜財団</small> 済生会支部山形県済生会
敷地面積	3,114.69㎡
延床面積	6,183.09㎡
建物構造	鉄筋コンクリート造[地上5階 地下1階]



サービス内容・主な設備

サービス付き高齢者向け住宅
(地域密着型特定入居者生活介護)

サービス付き高齢者向け住宅【18室】
部屋面積[約18㎡]
全室個室・介護用ベッド・タンス・ロッカー
トイレ(ウォシュレット)・洗面台
機械式浴槽・介護用浴槽付き浴室(2室)

ショートステイ

ショートステイ【20室】個室10室・2人室5室
部屋面積(1床)[約16~20㎡]
介護用ベッド・タンス・洗面台
食堂兼機能訓練室(72.0㎡)

乳児院はやぶさ

乳児院はやぶさ【定員20人】
セキュリティーロックシステム・床暖房システム
親子宿泊訓練室・心理療法室

デイサービスセンター
元気あっぷ教室(山形市委託事業)

デイサービスセンター【定員25人】
元気あっぷ教室【定員10人】
食堂兼日常訓練室(167㎡)・機能訓練室(147㎡)
大浴場・機械式浴槽(2台)・機能訓練設備機器

地域交流室・研修室・管理事務室

地域交流室[97㎡]・研修室[78㎡]会議室[63㎡]

地階 [厨房・各種管理設備室]

地域包括支援センター・訪問看護ステーション
管理事務室

サービス付き高齢者向け住宅

60歳以上の高齢者(60歳未満は要介護認定)の方を対象にした住宅(賃貸借契約)になります。

全室個室で広さは約18㎡、室内にはトイレ(ウォシュレット)洗面台・介護用ベッド・タンス・ロッカーを備えています。浴室は共用ですが、ユニット型介護浴槽浴室(2室)・機械式浴室を備えています。

厚生労働省による「特定施設」の指定により、介護スタッフによる介護サービス・生活支援サービスの利用が可能です。費用については、居住費(家賃)・食費・その他のサービス料等を含め、月額13万円～15万円程度になります。

なお、入居対象の方については、山形市地域密着型施設となるため、山形市在住の方が対象になります。



食堂兼居間(2室)



居室(全室個室)



居室(2入室)



居室(1入室)

ショートステイ(短期入所生活介護事業)

在宅介護中の高齢者の状況に合わせ、介護する方(ご家族)の負担軽減や一時的に介護できない場合に短期入所いただき、日常生活介護サービスをお受けいただくことができます。入所対象は、65歳以上の要支援・要介護認定の方になります。お部屋については、1人室と2人室となり、2人室については固定型パーティションで仕切られており、プライバシーに配慮した設計としています。

乳児院はやぶさ

様々な家庭の事情(親の病気や死亡・虐待・経済的理由など)により、家庭で暮らせない2歳くらいまでのお子さんを、家庭の代わりに24時間365日お預かりする施設です。

保育士・看護師・栄養士・社会福祉士・医師などたくさんの職種がチームとなり、連携しながら子どもたちの養育にあたっています。



居室



談話コーナー

デイサービスセンター・元気あっぷ教室

ご自宅から通って受けていただくサービスです。毎日の送迎サービスから、健康チェック・入浴サービス・昼食を提供いたします。

また、運動機能向上のため、作業療法士によるリハビリ訓練や体操・レクリエーションを通じ、生活の質向上・心身の活性化図れるよう、広々としたフロアでサービスを提供いたします。

デイサービスの他、元気あっぷ教室(通所C型)も同じフロアで提供しています。



食堂兼日常訓練室



機能訓練室

1階フロア

小白川ケアセンター管理事務室をはじめ、地域の皆様にご利用いただける「地域交流室」「会議室」「研修室」を備えたフロアになります。また、地域包括支援センター・訪問看護ステーション(サテライト)もあり、様々な目的でご利用いただけます。



地域交流室



元気あっぷ教室



研修室

社会福祉法人^{恩賜財団} 済生会について

明治44年、明治天皇は時の総理大臣桂太郎を召されて「生まれぬ人々のために施業救済による済生の道を広めるように」と済生勅語に添えてお手元金150万円を下賜されました。
 桂総理はこの御下賜金を基金として全国の官民から寄付金を募って同年5月30日済生会を創立しました。
 以来、100余年にわたり済生会は、創立の精神を引き継いで、保健・医療・福祉の充実・発展に必要な諸事業に取り組み、現在では、全国40都道府県に支部を置く、日本最大の社会福祉法人になります。

総 裁 秋篠宮皇嗣殿下
 会 長 有馬 朗人
 理事長 炭谷 茂

病院・診療所	97	介護老人保健施設	30
救護施設	1	児童福祉施設	24
老人福祉施設	122	障害者福祉施設	8
看護師養成施設	7	訪問看護ステーション	58
地域包括支援センター	27	その他施設	15

合計387施設 ・ 職員数約60,000人

それが日本最大の社会福祉法人「済生会」の願いです。

済生会は、明治天皇が医療によって生活困窮者を救済しようと明治44（1911）年に創設されました。
 以後100年以上にわたり医療・福祉で実績を積み重ねてきました。
 その歴史を基礎として、未来に向かって果たすべき三つの目標を掲げています。



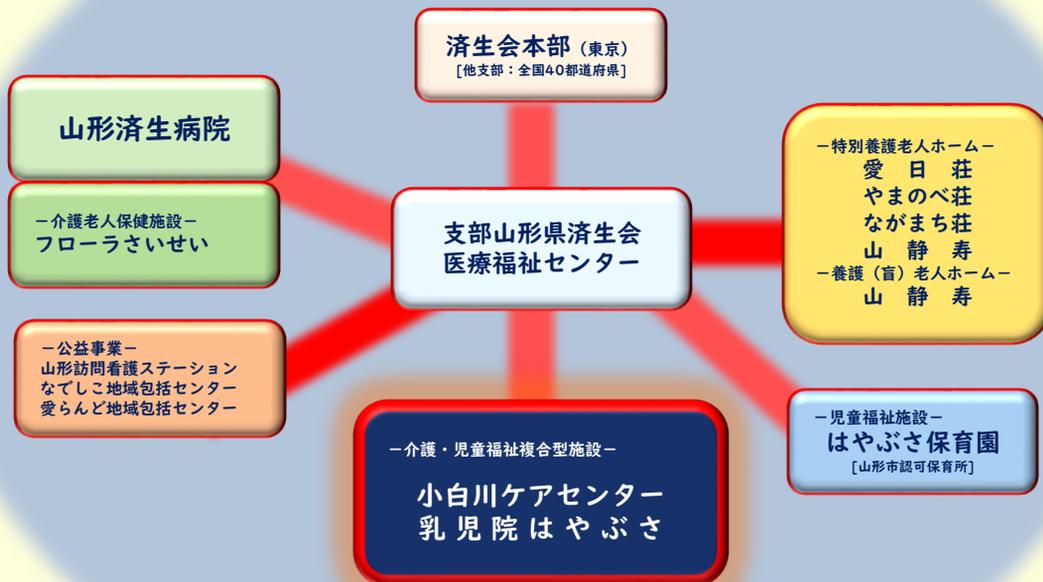
- 生活困窮者を「済」す
- 医療で地域の「生」を守る
- 医療と福祉、「会」を挙げて切れ目なく提供する

病、老い、障害、境遇……今、悩むすべてのいのちの虹になりたい。
 済生会はその願って、いのちに寄り添い続けます。

山形県済生会について

山形県済生会は、済生会創立30周年記念事業の一環として、山形市旅籠町に設置された山形産院が始まりとなり、昭和19年5月19日に設立しました。

現在は、山形済生病院をはじめ、特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・訪問看護ステーション・地域包括支援センター・保育園に加え、新たに乳児院を設置し、済生会の理念に基づいて、保健・医療・福祉の総合的なサービスを提供しています。
 21世紀、生まれる子どもはますます少なくなる一方お年寄りが多くなっています。政治・経済・社会の変わりようはめまぐるしく、保健・医療・福祉のあり方も厳しい転換期にさしかかっています。
 私たち済生会人としては、歴史と伝統のなかで培った“済生”の心をしっかりと抱きしめ、地域に生きる人たちの命を支え、健やかな体がはぐくまれるよう、これからも日々決意を新たに精進してまいります。



Social Welfare Organization Saiseikai Imperial Gift Foundation Inc.
 社会福祉法人^{恩賜財団} 済生会支部山形県済生会 小白川ケアセンター

〒990-0021 山形市小白川町2丁目3番1号
 TEL 023-616-5080 FAX 023-616-5081
 E-mail : kojirakawa@yamagata-saiseikai.org